

# 北海道新幹線開業に向けた 北海道開発局の取り組みについて

---

(道路)

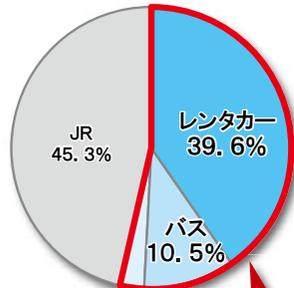
- 北海道新幹線の開業による道内外・海外からの来訪者の増加を見据え、平成17年5月の北海道新幹線着工以降、函館開発建設部では、道路事業において様々な取組を戦略的に推進。
- 北海道新幹線開業後の二次交通動態調査から、新函館北斗駅で降りた道外客が向かう先は道央方面が54%、函館方面が46%。駅からの移動は、レンタカーやバスなどの道路利用が5割以上となっており、来訪者の増加による交通流動の変化に対応した、高速ネットワークの拡充や交通安全対策を実施。また、北海道新幹線の開業を活かした地域づくり懇談会において、観光プラットフォーム設置による道南の周遊観光推進策も議論されている。
- 北海道新幹線の開業により、外国人を含めたさらなる観光客の増加が見込まれるため、道路標識・看板等の多言語化やシーニックバイウェイ、「道の駅」の取組を通じて観光客の満足度向上策を実施。

## 北海道新幹線利用者のニーズ把握

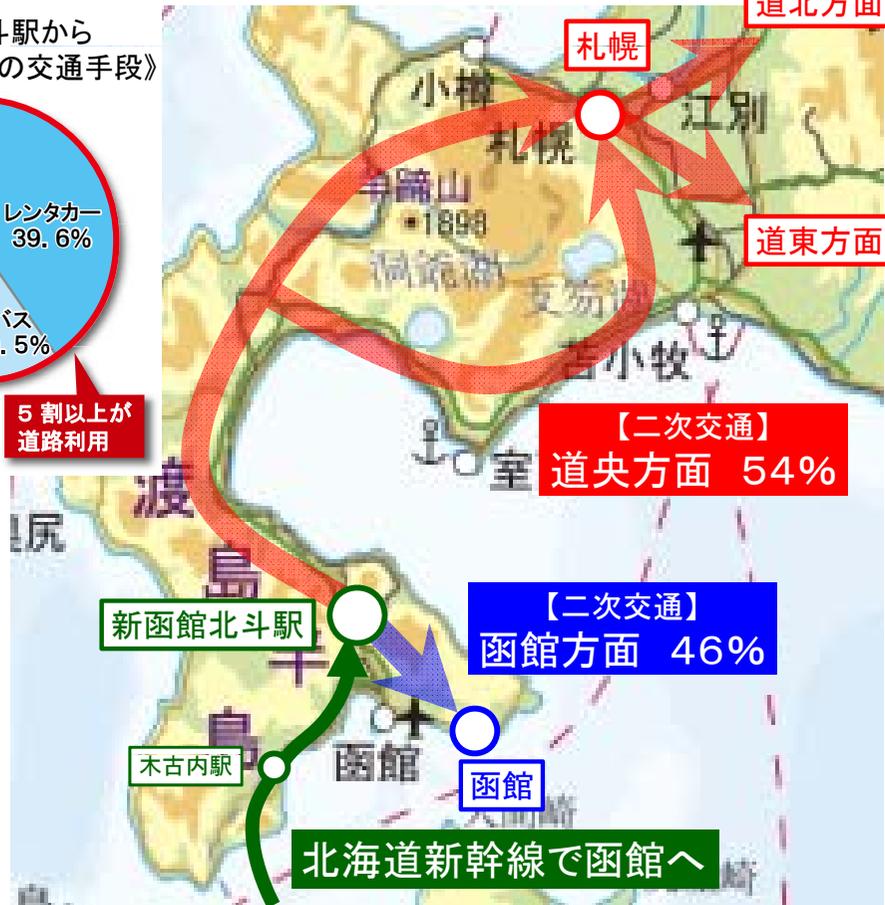
(北海道新幹線開業後の二次交通動態調査結果：北海道実施)

### ○新函館北斗駅で降りた道外客が向かう先

《新函館北斗駅から道央方面への交通手段》

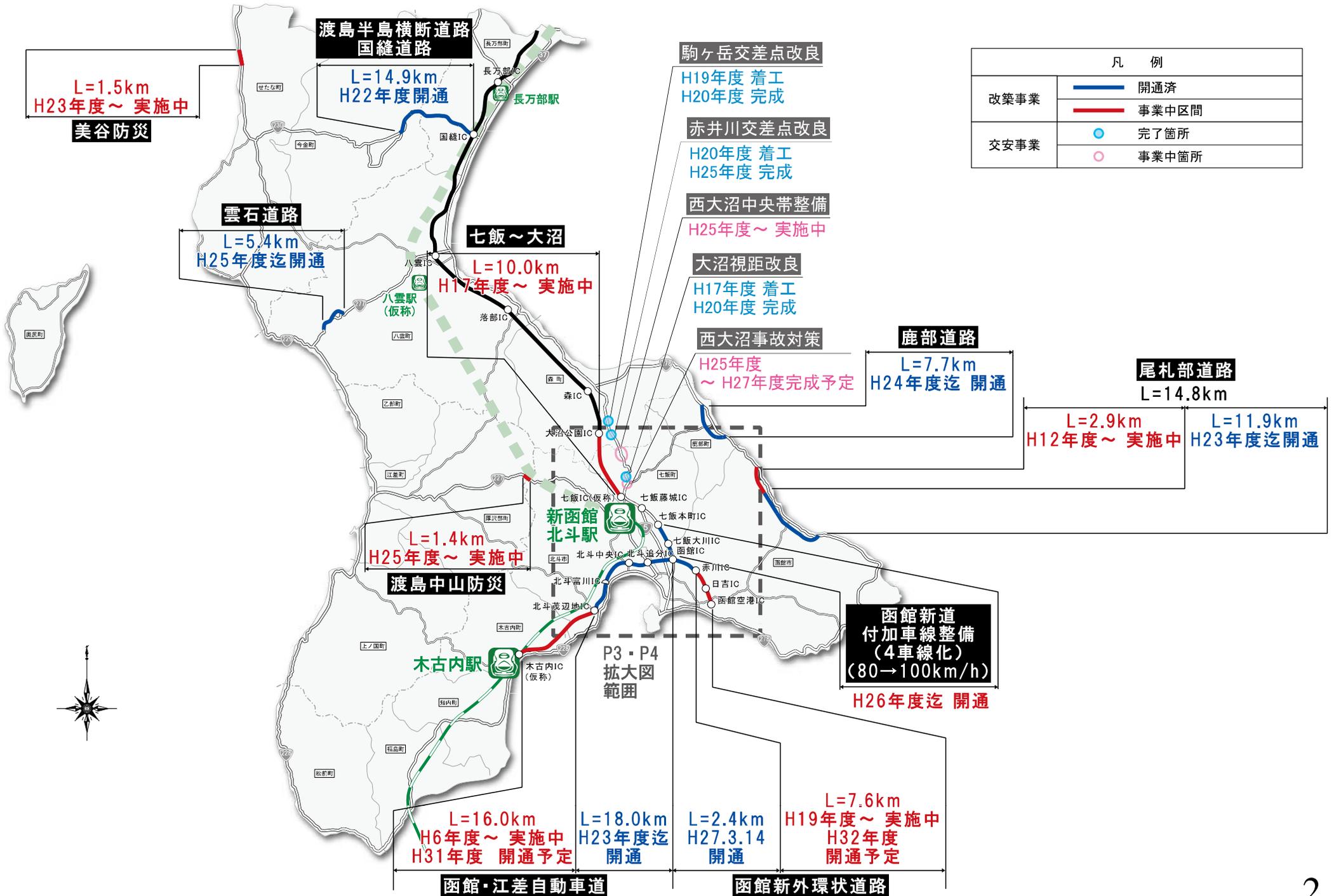


5割以上が道路利用



## 新幹線駅を拠点とした道南の周遊観光促進





## ◆ハード対策

### 1. 新函館北斗駅と函館市街方面のアクセス改善

- 観光客増加による主要観光地、函館空港等への交通量増加に備え、渋滞緩和対策及び交通事故対策を実施。  
→函館新外環状道路(空港道路)の整備促進、函館新道の一部を4車線化、国道5号交差点改良

### 2. 新函館北斗駅と道央方面のアクセス改善

- 道央方面への走行環境を改善し、観光客移動の利便性を向上。  
→北海道縦貫自動車道七飯～大沼の整備促進、国道5号交通安全対策

### 3. 新函館北斗駅と木古内方面のアクセス改善

- 主要観光地へのアクセス改善を実施し、観光客移動の利便性を向上。  
→函館・江差自動車道北斗茂辺地～木古内の整備促進、国道227号交差点改良

## ◆ソフト対策

### 4. インバウンド観光推進に向けたソフト対策

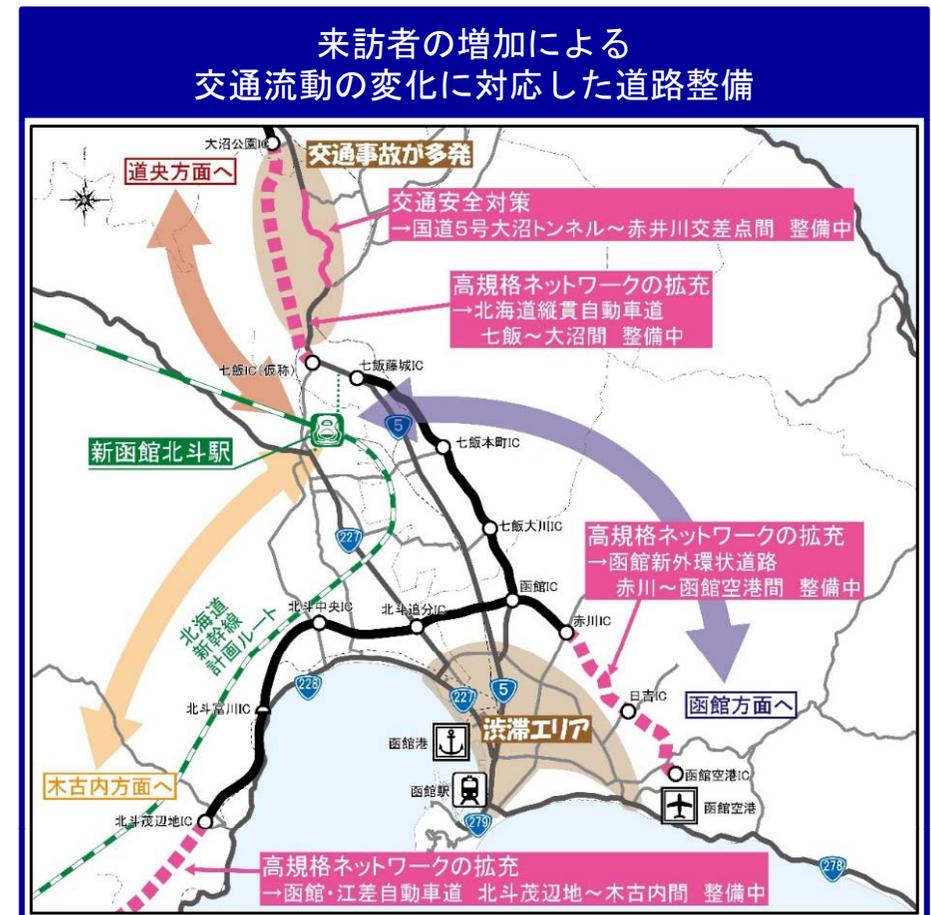
- 外国人観光客増加により、外国人でも便利で安全な道路利用を提供。  
→道路標識の英語標記改善、高規格の利用促進PR  
→シーニックバイウェイ(函館・大沼噴火湾ルート)

### 5. 道の駅の取組

- 重点道の駅候補:七飯町「(仮称)男爵いもパーク」
- どうなん「道の駅」レシートラリー  
どうなん「道の駅」イベント実行委員会  
(渡島・檜山管内全12駅)
- wi-fi環境整備

## ◆他機関との連携

- 新函館北斗駅誘導への案内標識設置



# 北海道新幹線新駅周辺の道路事業取組み箇所図

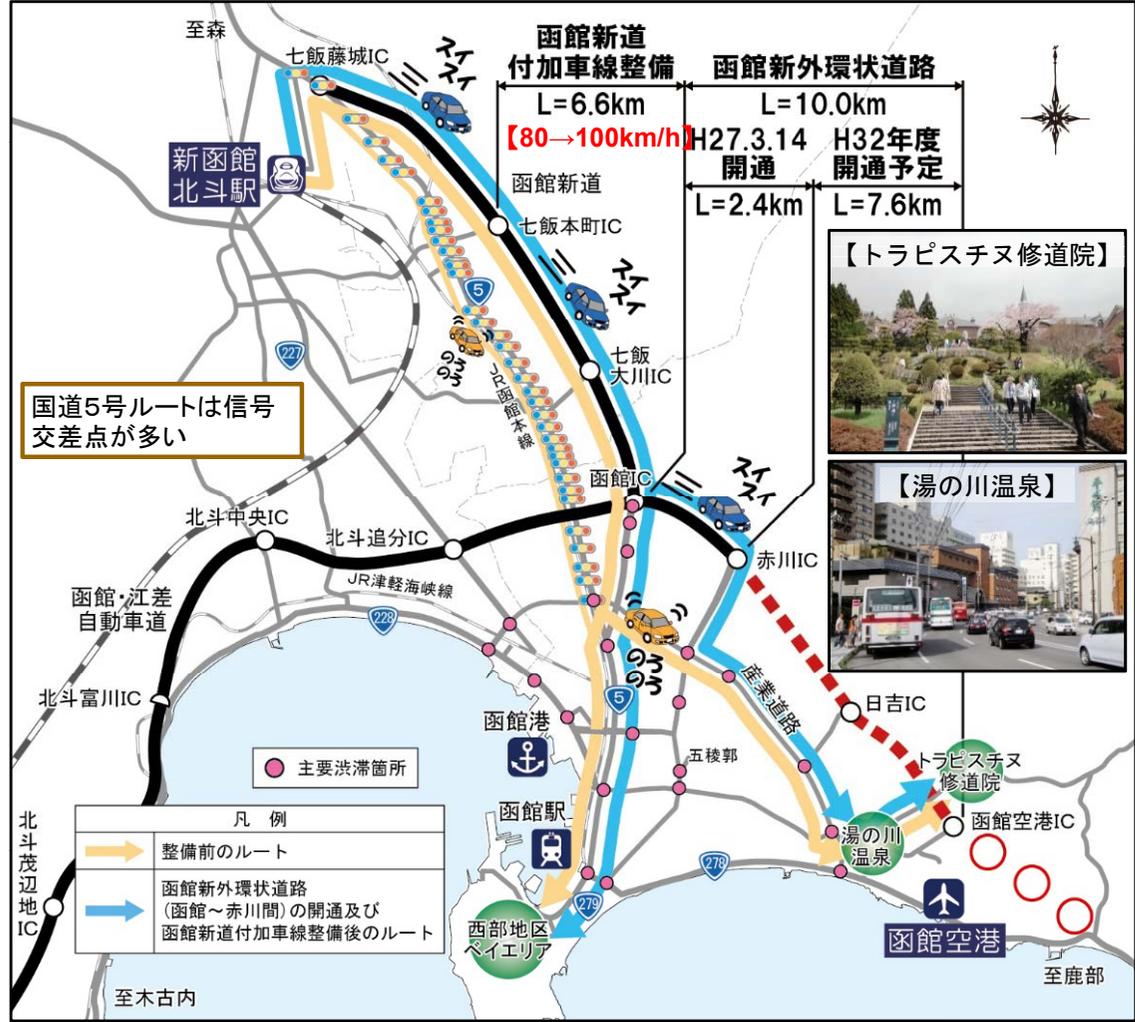


# 1. 新函館北斗駅と函館市街・函館空港・湯の川方面のアクセス改善（函館新外環状道路・函館新道付加車線の整備）

- 函館新外環状道路は、函館ICから函館空港ICへ至る延長10.0kmの自動車専用道路。平成27年3月14日に函館IC～赤川IC間（延長2.4km）が開通。また、函館新道の一部を4車線化しており、函館IC～七飯本町IC間で規制速度が80→100km/hに緩和。
- 函館新外環状道路及び函館新道の付加車線整備により、新函館北斗駅から湯の川温泉やトラピスチヌ修道院などへの移動時間の短縮が図られ、周遊観光の振興に貢献。

## ■ 周遊観光の振興

○ 新函館北斗駅から湯の川温泉への走行ルートの変化



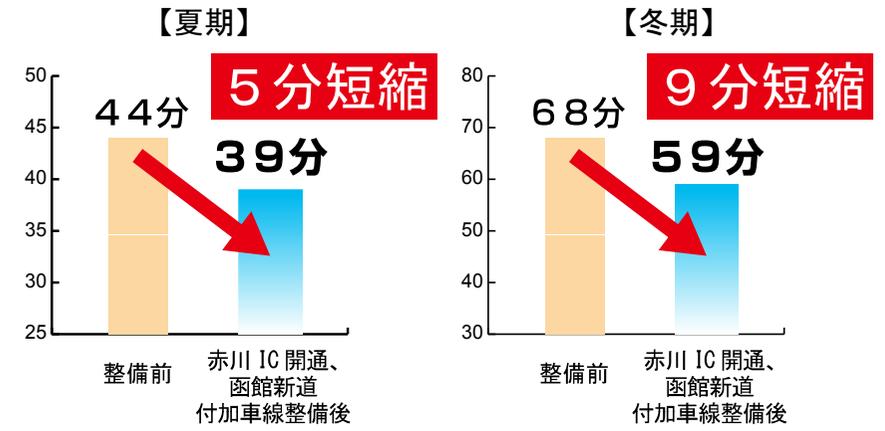
○ 函館新外環状道路開通区間



○ 函館新道の規制速度が100km/h



○ 赤川ICの開通及び函館新道付加車線整備による所要時間の変化（新函館北斗駅～函館空港間）

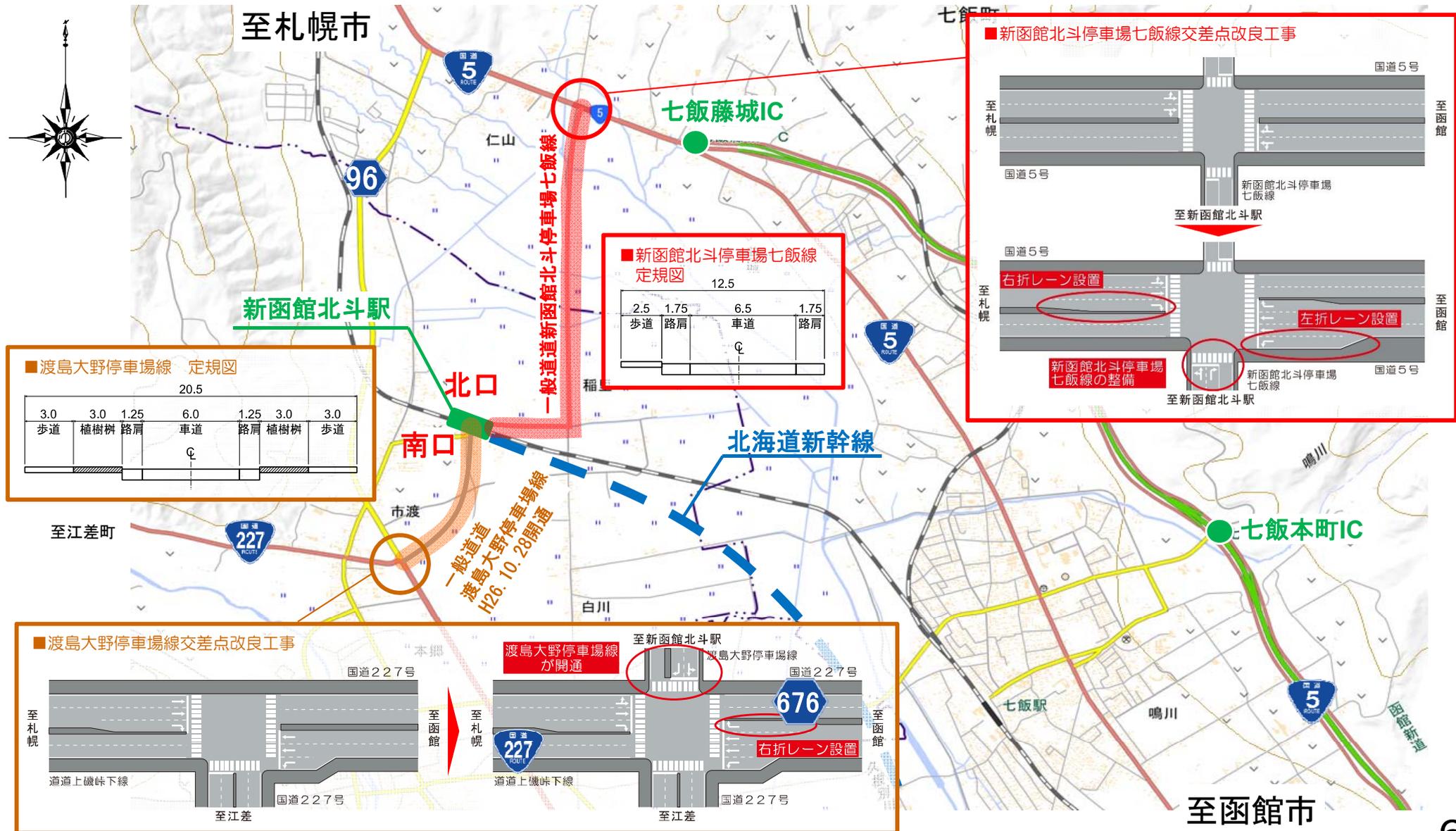


※ 赤川IC開通後は、空港道路の旅行速度を80km/h、函館新道（函館IC～七飯本町IC間）を100km/hと設定

資料：夏期 H22道路交通センサス  
冬期 H17道路交通センサス（冬期）

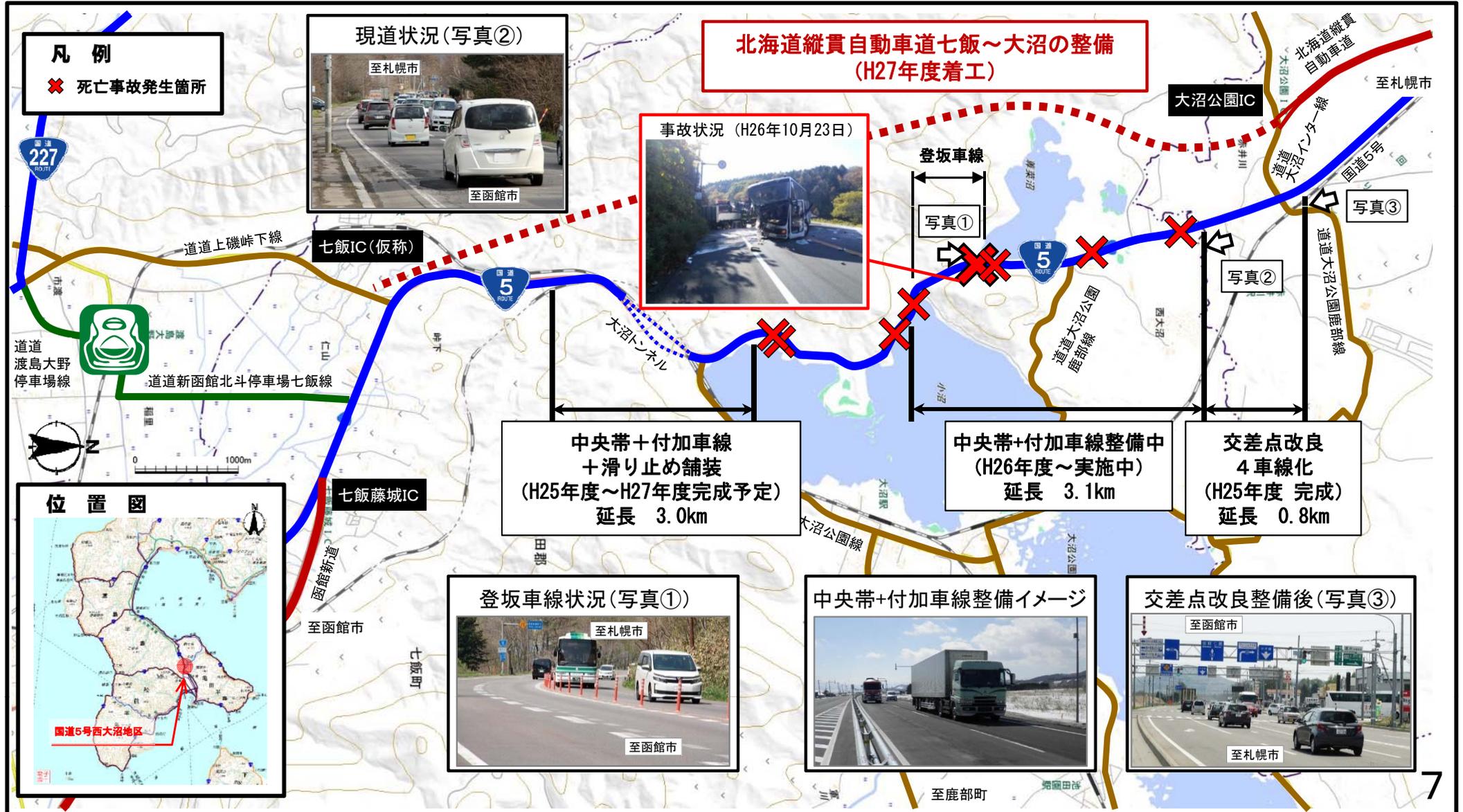
# 1、2、3. 新函館北斗駅とのアクセス改善（新函館北斗駅 アクセス道路の整備）

●国道5号・国道227号と現在整備中の一般道道新函館北斗停車場七飯線・一般道道渡島大野停車場線とが接続する交差点において、関係機関（北海道開発局、北海道）が連携し、道道の施工工程に合わせて国道の交差点改良工事を実施した。



## 2. 新函館北斗駅と道央方面のアクセス改善 (国道5号西大沼地区における交通安全対策)

- 新函館北斗駅から道央方面へのアクセス向上を目的として、北海道縦貫自動車道七飯～大沼の整備を促進中。現道の国道5号は、道南と道央を結ぶ主要路線であり、交通量が多く交通事故が多発しているため、道央方面への安全で円滑なアクセスルートの確保を目的とした交通安全事業も実施。
- 国道5号（大沼トンネル～赤井川交差点間）の交通安全対策を集中的に実施。交差点改良（赤井川交差点）に伴う4車線化や付加車線の整備などにより、渋滞を緩和し、円滑なアクセスルートを確保。



# 4. インバウンド観光推進に向けたソフト対策

●北関東以北から北海道へは新幹線を活用した方が短時間であることや、外国人観光客にお得な「JAPAN RAIL PASS」の利用等を踏まえると、新幹線開業による外国人観光客の更なる増加が想定される。函館市は、北関東以北の観光客を誘導するためのPRを行っており、函館開建もこれに連動して、様々な取組を実施。



【管内の取り組み】外国人観光客を念頭に、歩行者やドライバーに対して、道路標識・看板やパンフレットなどの**多言語化**や**ピクトグラム**の活用による**分かりやすい表示等**に取り組んでいる。

## 1)「道路案内標識」の英語表記改善



→ローマ字表記から英語表記に改善することで、外国人旅行者にも分かりやすい標識にし、車による移動の利便性向上を図る。

## 2)「スリップ注意喚起看板」のピクトグラム化・外国語表記



→注意喚起看板に外国語表記を加え、ピクトを用いて**視覚的に見やすい看板**にすることで、**安全性の向上**を図る。

## 3)開発局HP掲載の「冬道運転リーフレット」(5カ国語:日本語、English、中文(繁体字、簡体字)、한국어)

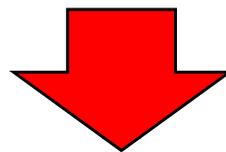


→外国語版のリーフレットを配布することで、**冬道の危険**を周知し、**交通事故の減少**を図る。

## 4)「函館駅周辺 冬道の歩き方」パンフレットの中文(繁体字版)作成・配布



→繁体字版のパンフレットを配布することで、**冬道の転倒事故防止**を図る。



実験的に限定した範囲で実施し、効果検証しながら、徐々に対象を拡大していく

## 【期待される効果】

外国人観光客(歩行者、ドライバー)の満足度向上 ⇒ **周遊観光、リピーター客の増大**

# 4. インバウンド観光推進に向けたソフト対策

●函館では、訪れる観光客に対してシーニックバイウェイ（函館・大沼噴火湾ルート）の活動を通じておもてなしを実施してきた。

＜おもてなしの実績＞

- ・函館新道など各地で沿道の花植活動や冬期にキャンドルナイトを実施（継続）
- ・鹿児島から帯広まで約6,000kmをレンタカーで走行するツアー参加者の函館での歓迎イベントを実施（H26. 5. 27）
- ・シンガポールからのツアー参加者にスイーツ制作体験、着付け体験、その他サプライズなおもてなし（H27. 10. 16）

●引き続き取り組みを行い、新幹線開業で新たに訪れる観光客の満足度を高め、再訪意欲を高めていく。

○沿道の活動を通して来訪者をおもてなし

○日本縦断レンタカーツアーin函館や  
プライム Follow Me JAPAN  
Fly&Drive Hokkaido Autumn Adventureでのおもてなし



ウェルカムボードでお出迎え



レンタカー出発をお見送り



花植やキャンドルを通して、沿道における地域からのおもてなし



スイーツ制作体験



着付け体験と記念撮影



料亭での会食  
サプライズケーキでおもてなし

# 5. 道の駅の取り組み

- 北海道新幹線駅からの観光客の総合窓口として、道の駅(重点候補)「(仮称)男爵いもパーク」及び道の駅「みそぎの郷きこない」、「しかべ間歇泉公園」の3駅が整備中となっており、周遊観光の促進貢献に期待。
- 北海道新幹線駅を拠点とした道南の周遊観光を促すイベントとして、道の駅が連携した『どうなん「道の駅」レシートラリー』(H25に道南エリアで道内初の実施)の継続開催支援。

■新たな観光拠点となる道の駅(重点候補)「(仮称)男爵いもパーク」及び道の駅「みそぎの郷きこない」、「しかべ間歇泉公園」

■どうなん「道の駅」レシートラリー

**拡大図**

**道の駅(重点候補)「(仮称)男爵いもパーク」**  
 【新函館北斗駅～道の駅間】約3.0km  
 新函館北斗停車場七飯線  
 波島大野停車場線

**道の駅(重点候補)「(仮称)男爵いもパーク」**  
 (イメージパース)

**道の駅(平成27年11月5日登録)「しかべ間歇泉公園」**  
 平成28年3月中オープン予定

**道の駅(平成27年11月5日登録)「しかべ間歇泉公園」**  
 (イメージパース)

**道の駅(平成27年11月5日登録)「みそぎの郷きこない」**  
 平成28年1月13日オープン予定

**道の駅(平成27年11月5日登録)「みそぎの郷きこない」**  
 (イメージパース)

北海道新幹線(仮称)「新八雲駅」  
 北海道新幹線「新函館北斗駅」  
 北海道新幹線「木古内駅」  
 至長万部駅  
 至新青森駅

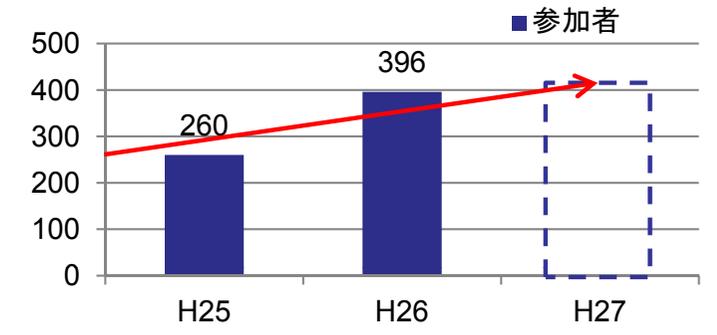
どうなん「道の駅」レシートラリー 2015  
 期間：2015.7.18(土)～11.30(月)

道の駅(重点候補)「(仮称)男爵いもパーク」

道の駅(平成27年11月5日登録)「しかべ間歇泉公園」

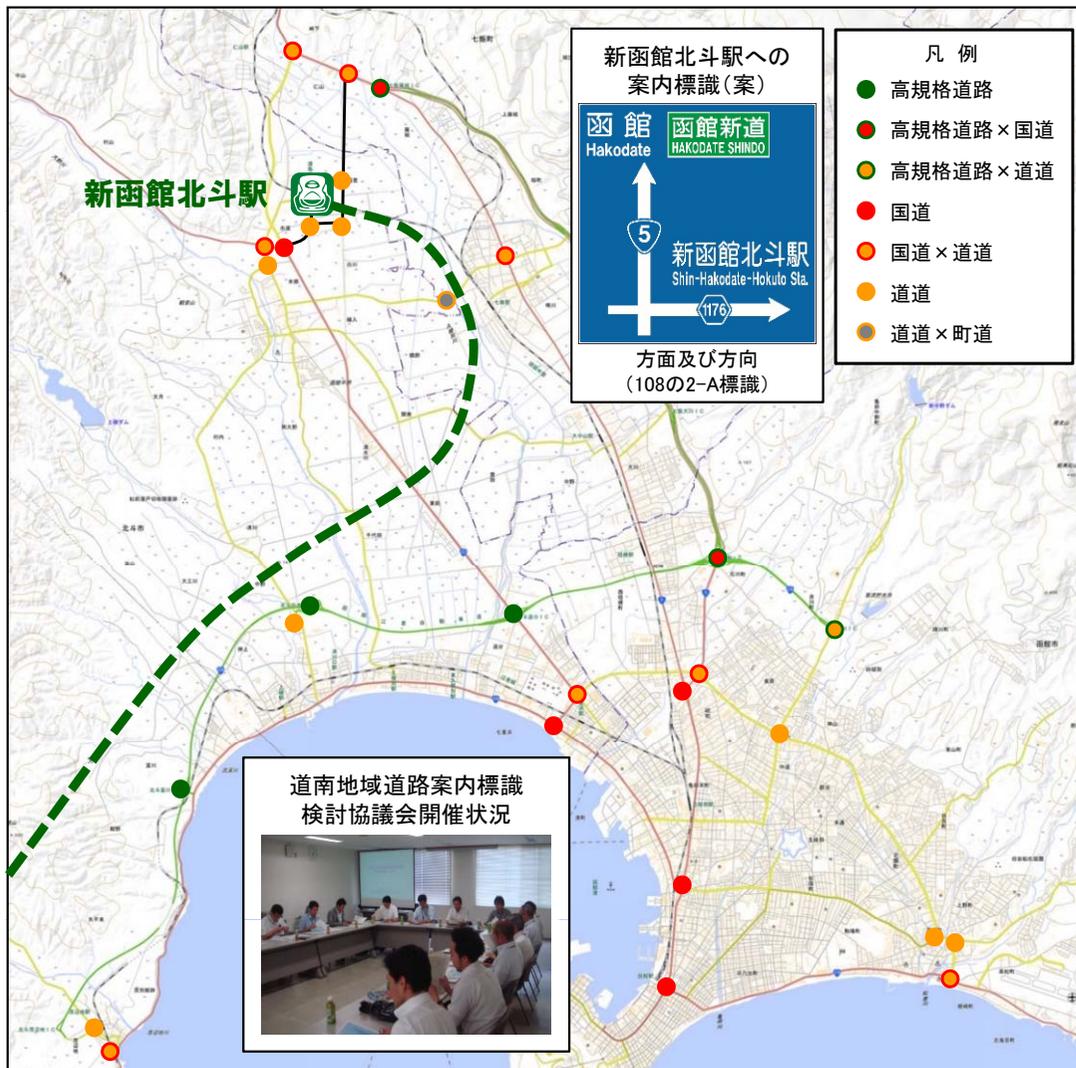
道の駅(平成27年11月5日登録)「みそぎの郷きこない」

レシートラリー参加者



- 平成27年度に予定されている北海道新幹線の開業に向けて、関係機関（北海道運輸局、北海道開発局、北海道、函館市、北斗市、七飯町、木古内町、北海道警察）が連携して、各地から新函館北斗駅への誘導のための案内標識設置計画を立案し、整備を実施。
- 木古内駅前では、北海道と各電線管理者が連携して一般道道木古内停車場線の無電柱化を実施。

## ■関係機関が連携して設置した案内標識設置箇所図



## ■一般道道木古内停車場線の無電柱化

